

第16回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会 開催報告（案）

1. 日時

2024年5月22日（水）15:00～

2. 場所

倶知安町役場3階 第1委員会室



3. 委嘱状の交付

（町長より、今年度より就任された委員へ委嘱状を交付）



4. 町長挨拶

- ・本日はお忙しい中、本委員会にご参加くださり、心より感謝申し上げます。
- ・本委員会は今年度で3年目の検討に入った。都市施設や西口駅前広場の検討内容についても大詰めとなってきている。
- ・鉄道・運輸機構より北海道新幹線の工事に際し、2030年開業は極めて困難であると報告を受けている。2024年5月14日に北海道新幹線の建設期成会において、国土交通省大臣に対し緊急要望を行った。また、北海道庁の新幹線担当局長が来庁されて経過についても説明も受けた。
- ・倶知安町としては、現駅の展開をどうするかも考えていく必要があるので、札幌駅と併せて、非常に難度の高いこれからのスケジュールを考えると大変厳しい状況にあるのは間違いないが、1日も早く開業の目標年次を定めていきたいことを要望していく。
- ・北海道新幹線に関する状況については、本委員会でも引き続き情報共有していきながら、これからの周辺整備を検討していきたいと思っている。
- ・住む人が使いやすく、訪れた人々がわかりやすい国際駅の玄関口としてふさわしい駅周辺整備及び施設の在り方について、鋭意意見を頂きながら進めていきたい。



5. 委員長及び副委員長の選出

- ・委員長として吉田委員、副委員長として柏谷委員がそれぞれ選出される。



6. 議事

(1) 駅舎デザイン推薦案に係る意見について … 資料1

(倶知安町 木村係長)

- ・資料1について説明
(吉田委員長)
- ・事務局からの説明について、ご意見はあるか。
(一同)
- ・異論なし。
(吉田委員長)
- ・異論なしということなので、事務局案で進めていただく。

(2) 地元協働企画について … 資料2

(鉄道・運輸機構 阿部課長、渡邊氏)

- ・資料2について説明
(吉田委員長)
- ・地元協働企画について、他の開業駅は完成のどれくらい前に行ったのか。
(鉄道・運輸機構 阿部課長)
- ・概ね2年前程度。
(斎藤委員)
- ・事例ではトイレが多いかと思う。現時点では、駅のどの辺の場所を活用する想定か。
(鉄道・運輸機構 阿部課長)
- ・どのような素材でどこに配置するかを含めて、町と協議していくこととなる。
(波方委員)
- ・一度制作したもの、変更しないという理解で良いか。

(鉄道・運輸機構 阿部課長)

- ・その通り。メンテナンスフリーのものと考えている。

(吉田委員長)

- ・開業時期を踏まえ、誰に製作してもらうかを考えることになるかと思う。

(柏谷副委員長)

- ・時間をかけてやるか開業前の最後の2年間でやるかという視点があるかと思う。
- ・鉄道・運輸機構と西松建設の協力を得て、来月に工事用の仮設の壁に描かれた子どもたちの絵を更新する話を聞いている。年数をかけるのであれば、書き溜めるという考えもあるかと思う。

(鉄道・運輸機構 阿部課長)

- ・まずは素材について、倶知安ならではのものがあれば教えていただけると助かる。

(吉田委員長)

- ・素材について、委員の意見を伺いたい。

(波方委員)

- ・木材が良いと思う。木材をタイルみたいに加工することで、割れや乾燥もしなくなる。

(青柳委員)

- ・農産物を使うことはできないか。例えば、倶知安と言えばじゃがいもなので。

(鉄道・運輸機構 阿部課長)

- ・腐らない技術があれば、活用できなくはない。

(青柳委員)

- ・じゃがいもを含んだ素材を使うとか。

(鉄道・運輸機構 阿部課長)

- ・メンテナンスがかからず、長期間維持できるものであるとありがたい。

(斎藤委員)

- ・アイデアレベルとして、リサイクルを兼ねて使えなくなったまたは使わなくなったスキー板やボード板を加工して活用するというのはどうか。

(青柳委員)

- ・モニュメントもありか。

(鉄道・運輸機構 阿部課長)

- ・モニュメントの配置もあり。手に降れるのが危ないものをおくのであれば、手に触れないような場所に配置するとかは思う。

(斎藤委員)

- ・毎年使えなくなったスキー板はたくさん出てくる。

(波方委員)

- ・昔使われていた長いスキー板を展示して、倶知安の歴史を感じてもらおうというものもある。
- ・地元協働企画なので、たくさんの方が関わるのが大事なのかと思う。事例にあるような、子どもや町民が作ったものを集めて展示する方法が良いかと思う。

(斎藤委員)

- ・子どもが関われない取り組みだと残念なように思う。

(佐藤委員)

- ・素材をどうするかという点と、どのようなデザインにするかという点を考えてくといいかと思う。
- ・倶知安をイメージした際、雪なのかじゃがいもの花なのか。いずれにしても真っ白ではある。倶知安をイメージしたものを壁につけるのか、モニュメントにするのか。
- ・波方委員のように、地域の木材をブロックにし、子ども達に彩色してもらったものを飾るということもアリかと思う。

(岩佐委員)

- ・冬なのか夏なのか、全体シーズンなのか。駅という特性を考えると、何を表現するかが大事になるかと思う。いもの花で雪を表現するというのもあるかもしれない。

(佐藤委員)

- ・倶知安の四季を示すというのもいいかもしれない。

(吉田委員長)

- ・諫早駅の押し花は季節感を持たせているのか。貼りっぱなしか。

(鉄道・運輸機構 阿部課長)

- ・貼りっぱなしなので、季節によって変えるわけではない。

(柏谷副委員長)

- ・参集範囲は、倶知安だけでいいのか、羊蹄山麓含めた地域まで範囲を広げるかについて皆さんの意見を聞きたい。

(斎藤委員)

- ・現段階で決めなくてもいいのではないかと思う。

(鉄道・運輸機構 阿部課長)

- ・維持管理は JR 北海道となることから、製作した後に更新したいとなった場合、自治体が費用負担をするのであればできるかもしれない。ただ、現実的には難しいと思うので、メンテナンスフリーとしたいと考えている。

(岩佐委員)

- ・できるだけ多くの方に参加頂くとした場合、小さいパーツを作って1つの絵を作るのはいいかと思った。色々な表現をそこにちりばめていくという考えもある。

(柏谷副委員長)

- ・観光協会で押し花教室を開催した経緯を伺いたい。

(吉田委員長)

- ・夏の滞在客のお客様を対象に、滞在期間中も楽しんでいただけるように押し花教室を提供していた。講師の先生が有名な方だからか、定着はしている。
- ・地域協働企画は、いつまでに鉄道・運輸機構に報告すべきか伺いたい。

(鉄道・運輸機構 阿部課長)

- ・今年度中に設計は完了予定。今日出た皆さんのアイデアを踏まえ、鉄道・運輸機構としてもアイデアを考えたいと思う。今日明日で決める話ではないので、追加意見があれば伺いたい。

(岩佐委員)

- ・話は変わるが、駅名は「倶知安」で決まっているのか。

(吉田委員長)

- ・まだ決まっていない。

(岩佐委員)

- ・個人的には、駅に着いたら写真を撮りたくなる。

(波方委員)

- ・鹿の角とか。

(吉田委員長)

- ・鹿の角も面白いかもしれない。

(窪田委員)

- ・先ほどの素材について、スキー板も面白いと思った。
- ・倶知安駅舎のガラス面に倶知安の山並みを示すガラスシートをつけるのであれば、そことマッチして検討する必要もあるかと思った。

(小泉委員)

- ・駅舎内は都市施設とは異なり、一度出来上がると素材を含めて恒久的な進め方の中で検討が必要だと、阿部課長の話聞いて理解した。東北新幹線や上越新幹線のような初期の新幹線では、コンコース内はコンクリートだけという体裁。今回は、そこに地域のカラーを出せる形にしよう話なので、地域として受けない手はないと思う。
- ・地域の玄関口として考えると、地域のおもてなしを見せられる場所となれば面白いと思う。

7. その他

(倶知安町 西口主幹)

- ・ご報告事項がある。東急からスキー場で活用しているリフトの搬器を3基お譲りいただけることとなった。譲っていただける搬器が日本で一番長く活用されていたとのことで、倶知安はスキーの町であることを考えると、都市施設内のベンチ等で活用できないかと考えている。次回は7月に委員会開催を考えており、その際に議論出来たらと思っている。

以上